

エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社 名古屋支店は

違法派遣、告発した社員に嫌がらせ

曖昧な指示命令の下でうつ病を続発した社員を見過ごせず、会社に改善要望したら、途端に嫌がらせやパワーハラコメント

二〇〇六年一月八日の営業会議のこと、当時一定のキャリアを持って中途採用され営業職係長であった〇氏は派遣先から戻る技術者の多くが体調を崩したり、うつ病になって帰ってくることに疑問を持っていたので「会社と客先との、多重派遣や偽装請負など、曖昧な契約が元で、客先で不

当な業務指示を受けたりして耐え忍んで作業していることが原因のひとつとして考えられる」と発言したところ支店長や課長の逆鱗に触れ、「新人のくせに偉そうなことを言うな」と全員の前で罵倒された上、翌日には営業から開発部に配点されてしまいました。

※請負契約であれば客先からの直接の指示命令は違法行為

つづく。パワーハラと仕事はずし、降格、減給、ゼロ賞与

その後は仕事を与えられず、席も皆とは切り離されてしまいました。会社に対して意見を言ったり提案する社員には長期にわたり仕事を与えず、あげ

くに仕事をしていないとか、未稼働であると言いがかりをつけて降格減給処分、およびボーナスゼロを連発してきました。

仕事を与えたかと思えば、設計作業に必要な資料提供を怠ったうえ、一定期間経ったから成果物を出せという不当な業務命令

そして今度は、東京本社の高木一雄人事部長は採用管理システムという社内システムを作成するよう命じておきながら、設計作業に必要な資料提供を怠ったうえ、「期日までに設計書を完成させる！」という業務命令を出し、期日までに出した設計書について何ら確認しようとせず「書類が足りない」なぜ提出物を出さないのか」等と因縁をつけてプロジェクトを離脱させるという嫌がらせをしてきました。

さらに、高木人事部長は、今度は名古屋支店の佐川支店長、加藤管理課長を操り、交通費清算システムという社内システムを作るよう命じておきながら、またしても設計する為に必要な資料提供を怠ったうえ、打ち合わせ調整役である〇氏との確認を無視して勝手に会議を招集したうえ納期を決め、「期日までに設計書を完成させる！そして指定日に報告しろ！」という不当な業務命令を出してきました。

専制支配を無くし人間らしく働ける職場に

人権や民主主義が尊重され、市民的自由が当然のようには言われていますがTCSグループのような会社もまだまだ残っています。私たち労働組合はこう

した中でも仲間の心を信じ、いつかは協力して職場を変えていこうと願って奮闘しております。「理解とご支援よろしくお願ひ致します。」

抗議先・連絡先

抗議先 エヌ・ティ・ティ・システム開発株式会社

代表取締役社長 高山允伯(たかやまますのぶ)

東京都豊島区目白二丁目十八番一十一 TCS-HD南池袋ビル

Tel 06-696816-8711 FAX 0696816-6162

連絡先 名古屋氏熱田区沢下町9-3 労働会館本館402

全日本金属情報機器労働組合(略称JMIU)愛知支部

Tel 052-8866-6974 FAX 8866-6975 発効日 2013/2/22